

製品安全データシート

PTFE Dispersion(PFOA Free)

作成 : 2022/7/8
改訂 :

● 項目1 化学品及び会社情報

化学品の名称	PTFE Dispersion(PFOA Free)
会社名	Shanghai 3F New Materials Co.,Ltd
住所	NO.4411,LongWu Road shanghai 200241,China
担当部署	
担当者(作成者)	Chemical Inspection & Regulation Service Limited
電話番号	+86-21-64346226
販売代理店	サンケミカル株式会社
住所	東京都中央区日本橋小伝馬町2番4号 三報ビルディング
電話番号	03-3661-6681
FAX	03-3661-7055
メールアドレス	yano@sun-chemical.co.jp
HP	http://www.sun-chemical.co.jp/

推奨用途及び使用上の注意

★ 項目2 危険有害性の要約

GHSの分類

物理化学的危険性: 分類できない

健康に対する有害性: 分類できない

環境に対する有害性: 分類できない

分類	内容
区分1~4	数字が小さい方が危険・有害性が高い。1(危険)>4(比較的安全)
区分に該当しない	数字で表示される区分より安全性が高い。
分類できない	分類に有効なデータが無く、有害なのか安全なのか、分からない。
分類対象外	この項目には無関係な製品。例えば、固体の製品では「自然発火性液体」の項目で、分類対象外になる。

● GHSのラベル要素

- 絵表示又はシンボル 無し
- 注意喚起語 無し
- 危険有害性情報 無し

● 注意書き

【安全対策】

すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
使用前に取扱説明書を入手すること。

- 【応急措置】 吸入した場合 吸入した場合、被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。吸入した場合、医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。
皮膚に付着した場合、気分が悪い時は、医師に連絡すること。
汚染された衣類をすべて脱ぐこと。
汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。
- 眼に入った場合 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。
次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼に入った場合、眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合 飲み込んだ場合、口をすすぐこと。
飲み込んだ場合、気分が悪い時は、医師に連絡すること。

【保管】 密閉し、換気の良い涼しい場所に保管すること。

【廃棄】 リサイクルと埋立処理 が望ましい。
焼却処理はフッ化水素と酸性発火物を落とせる場合にのみ適用すること。
処理、保管、輸送と廃棄は法令に従い行うこと。

項目3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名

テトラフルオロエチレン重合体

慣用名・別名

テトラフルオロエチレン重合体+水

化学物質を特定できる一般的な番号

CAS番号

成分及び濃度又は濃度範囲(含有率)

官報公示整理番号(化審法、安衛法)

GHS分類に寄与する成分

物質名	CAS/EC	構成	化審法	安衛法	備考
1, 1, 2, 2-テトラフルオロエチレン重合体	9002-84-0	59~61%	6-939	6-939	
ポリ(オキシエチレン) = (1, 1, 3, 3-テトラメチルブチル)フェニルエーテル	9036-19-5	4~7%	7-172	7-172	
水	7732-18-5	32~38%			
アンモニウム = 2, 2, 3, 3, 4, 4, 5, 5, 6, 6, 7, 7, 8, 8, 8-ペンタデカフルオロオクタノアート	3825-26-1	0%	□ 2-1195	□ 2-1195	非含有品の為。

▲ 項目4 応急処置

吸入した場合 吸入した場合、被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
吸入した場合、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。
皮膚に付着した場合、気分が悪い時は、医師に連絡すること。
汚染された衣類をすべて脱ぐこと。
汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。

眼に入った場合 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。
次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼に入った場合、眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合 飲み込んだ場合、口をすすぐこと。
飲み込んだ場合、気分が悪い時は、医師に連絡すること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状
詳細な徴候及び症状は、項目11-有害性情報に記載する

応急処置をする者の保護

医師に対する特別な注意事項

毒劇物の場合、解毒剤

項目5 火災時の措置

消火剤 泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、水

使ってはならない消火剤 データなし

火災時の措置に関する特有の危険有害性 燃焼時、フッ化水素、一酸化炭素と二酸化炭素、毒性のフッ化混合物が形成される。

特有の消火方法 危険でなければ火災区域から容器を移動する。
爆発の可能性があるため、壁に隠れて消防を行うこと。
熱を持っている場合、荷物を移動させないこと。
安全に対処できるならば着火源を除去すること。

消火を行う者の特別な保護具及び予防措置
呼吸器の保護具。
全身の保護具。
フッ化水素ガスが、火災時に水と反応して、フッ化水素酸が発生する。
火災時、事後はネオピレンの不燃性の手袋を使用すること。

項目6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置

裸火を近づけない事。十分な換気環境で取り扱う事。容器を密閉すること。
大量/密室で漏れた場合、避難方法を考慮すること。
皮膚の保護具、眼の保護具、全身の保護具を着用すること。

汚染場所から離れる事。関係のない人を避難させること。換気をする事。
項目8を参照ください。

環境に対する注意事項

政府の許可なく、環境放出しないこと。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏出物を適切な容器に入れる。
こぼしたら、直ぐに掃除か吸上げて片づける。
漏出物で転倒しないように直ぐに片づけること。
適切な廃棄用の容器に回収すること。

二次災害の防止策

▲ 項目7 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策
(局所排気、全体換気)

「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、
保護具を着用する。
「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行なう。

安全取扱注意事項

裸火、熱に近づけないこと。
取扱い場所では喫煙、飲食をさけること。
換気の良い場所できりあつかうこと。
取り扱い後は手をよく洗うこと。
静電気の発生をさけること。

接触回避

「10. 安定性及び反応性」を参照。

衛生対策

厳しく監視すること。容器は密閉すること。汚染された衣類は直ぐに脱ぐこと。
廃棄物を下水に流さないこと。

保管

安全な保管条件

密閉し、換気の良い涼しい場所に保管すること。

近づけてはいけないもの

可燃物、(強酸化剤)、金属、水/湿気

安全な保管保管包装材料

アルミニウム、鉄、ポリプロピレン、ガラス

▲ 項目8 暴露防止及び保護措置

許容濃度等

日本産業衛生学会(2005年版)
ACGIH(2005年)

未設定
未設定

AEL
TWA

ダスト 10mg/m³ 8H
5mg/m³ 8H

設備対策

この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。または換気を行うこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。

呼吸器官を保護、もしくは局所、全体換気の管理で作業を行うこと。
厳格な衛生管理の下で作業し、容器は密閉し、作業中の飲食と喫煙は避けること。

保護具

呼吸用保護具

換気設備が充分でない場合、NIOSH/MSHA認証の呼吸器の保護具を着用すること。
ポリマーガス熱を避けるため、空気中の粒子を防ぐダストミストを避ける
カートリッジかキャニスター付きのもの。

手の保護具	Kevlar® 擦り切れる迄使用できる熱体制のもの。 高温の場合、高温に耐えられる保護具。
眼の保護具	眼を覆う保護具。
皮膚及び身体の保護具	防護服
特別な注意事項	

項目9 物理的及び化学的性質	
物理的状态	グラニュール +水
色	白色
臭い	無し
融点・凝固点	320~345°C
沸点又は初留点及び沸騰範囲	400°C
可燃性	データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	データなし
引火点	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	データなし
動粘性率	データなし
溶解度	データなし
n-オクタノール/水分分配係数(Log値)	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び/又は相対密度	2.14-2.18 g/cm3
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし
その他のデータ	

● 項目10 安定性及び反応性

反応性	
化学的安定性	通常は安定。
危険有害反応可能性	危険反応の情報はない。
避けるべき条件 (静電放電、衝撃、振動など)	熱分解をさけること。熱しないこと。 融点迄熱して処理する際、分解物が発生する。
混触危険物質	マグネシウムやアルミニウムの金属粉、フロリンのような酸化剤になりえるもの。
危険有害な分解生成物 その他	燃えた場合、一酸化炭素と二酸化炭素を発生させる。 一酸化炭素を含む有毒ガス フッ化水素

★ 項目11 有害情報

急性毒性	データなし
皮膚腐食性/皮膚刺激性	データなし
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし

特定標的臓器毒性、単回曝露
データなし

特定標的臓器毒性、反復曝露
分類できない

誤嚥有害性
分類できない

その他

項目12 環境毒性情報

生態毒性
データなし

残留性・分解性
データなし

生態蓄積性
データなし

土壌中の移動性
データなし

オゾン層への有害性
データなし

他の有害影響

▲ 項目13 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい破棄、又はリサイクルに関する情報

リサイクルと埋立処理が望ましい。
焼却処理はフッ化水素と酸性発火物を落とせる場合にのみ適用すること。
処理、保管、輸送と廃棄は法令に従い行うこと。

項目14 輸送上の注意

国際規制
国連番号
品名(国連輸送名)

非該当
非該当

国連分類
(輸送における危険有害性クラス)

非該当

容器等級
海洋汚染物質
(該当・非該当)

非該当
非該当

MARPOL73/78附属書II及び
IBCコードによるばら積み輸送される液体物質
(該当・非該当)

非該当

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

国内規制がある場合の規制情報

その他
応急措置指針番号

非該当

項目15 適用法令

該当法令の名称及びその法令に基づく規制のに関する情報

化管法	cas 9036-19-5 ポリ(オキシエチレン)＝オクチルフェニルエーテル 第一種指定化学物質 1-408 2023年以降 cas 9036-19-5 ポリ(オキシエチレン)＝オクチルフェニルエー 第一種指定化学物質 1-461
安衛法	非該当
毒劇法	非該当
火薬類取締法	非該当
高压ガス保安法	非該当
消防法	非該当
化審法	非該当
船舶安全法	非該当

航空法
パーゼル法
外為法

非該当
非該当
キャッチオール規制

その他の適用される法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

項目16 その他の情報

安全上重要であるが、これまでの項目名に直接関係しない情報

引用文献

オリジナルMSDS
独立行政法人 製品評価技術基盤機構 NITE

その他

注意:

- ・危険有害性の評価はかならずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。
- ・この製品安全データシートは、当社の製品を適切にご使用いただくために必要で、注意しなければならない事項を簡潔にまとめたもので、通常の見直しを対象としたものではありません。
- ・本製品は、この製品安全データシートをご参照の上、使用者の責任において適正に取り扱ってください。
- ・ここに記載された内容は、現時点で入手できた情報やメーカー所有の知見によるものですが、これらのデータや評価は、いかなる保障もするものではありません。また法令の改正及び新しい知見に基づいて改訂されることがあります。

赤字	必須情報	★	リスクアセスメント必須事項
青字	可能なら記載する情報	●	ラベルに記載する情報
黒字	無くても良い情報	▲	安衛法ラベルの注意書きの項目
色分け	2019年改正JIS Z7252/Z7253		(但し、ラベルに全て載せる必要はない)